指定ごみ袋 これからどう変わる？

令和９年４月から、下妻市･八千代町･常総市（旧石下町）の下妻広域３市町で、指定ごみ袋を統一します。これに伴い、現在行っている指定ごみ袋の無償配布を終了し、今後はご家庭で必要な量の指定ごみ袋を購入していただく制度へ移行します。

この取り組みは、ごみの減量化・資源化を進めるとともに、指定ごみ袋の規格や作成を統一することで、公平で持続可能なごみ処理制度への移行と、作成・流通の効率化を図るものです。

ごみの減量化・資源化を進め、将来にわたって安定したごみ処理を行うため、ごみの適正な分別と減量化にご協力をお願いします。

指定ごみ袋が統一されます

３市町で指定ごみ袋の規格・デザインを統一し作成することで、効率化、コスト削減を図ります。

主な変更点	現在	令和９年４月から
袋の色	半透明	もえるごみ袋…オレンジ色半透明 もえないごみ袋…青色半透明
袋の厚さ	0.02mm	0.03mm以上
もえるごみ袋の大きさ	40Ｌ	45Ｌ相当、30Ｌ相当、20Ｌ相当



もえるごみ袋



もえないごみ袋

指定ごみ袋の無償配布を終了します

現在、世帯ごとに指定ごみ袋を無償配布していますが、令和８年２月に発送した引換券をもって終了します。
ただし、制度移行によるご家庭の負担を軽減するため、経過措置を設けます。

配布のスケジュール ※経過措置では、全世帯一律の配布枚数となります。

令和９年
もえるごみ袋 45L 相当を
50 枚 配布

→

令和 10 年
もえるごみ袋 45L 相当を
30 枚 配布

→

令和 11 年以降
経過措置を終了

Q. なぜ無償配布を終了するの？

A. ごみの減量化・資源化を進めるため

必要な量のごみ袋を購入する仕組みに移行することで、ごみの排出抑制や資源化への意識を高め、環境に配慮したごみ処理を進めます。

A. 公平で持続可能な制度にするため

これまでの無償配布から、ごみを出す量や生活様式に応じて必要な量を購入する仕組みへ移行します。

Q. 指定ごみ袋はどこで買えるの？

A. 新しい指定ごみ袋は、市内および近隣市町のスーパーマーケット、ドラッグストア、ホームセンター、コンビニエンスストア等で令和９年３月頃からの販売を予定しております。
※販売店ごとの自由価格となり、価格は 10 枚 500 円より下がる見込みです。

詳しくは HP をご覧ください。

問 環境課
☎43-8234

Q. 令和９年４月以降、現在のごみ袋はどうなる？

A. 現在お持ちの指定ごみ袋は、引き続き使用できます。

令和８年度 上半期の予算執行状況

問 財政課 ☎ 43-2158 FAX 43-4214 上下水道課 ☎ 44-5311 FAX 44-5312

市では、条例に基づき予算の執行状況や業務状況および地方債、財産の現在高について、年に２回公表しています。今回は、令和８年４月１日から９月30日までの状況をお知らせします。

一般会計

教育や福祉、土木など基本的な行政サービスを行う会計

歳入 予算現額 220億9,759万円
収入済額 107億8,504万円（収入率48.8%）

44億3,841万円	市税
19億8,005万円	地方交付税
13億1,595万円	国庫支出金
1億6,371万円	県支出金
28億8,692万円	その他

（収入済額）

歳出 予算現額 220億9,759万円
支出済額 88億1,215万円（執行率39.9%）

民生費	31億4,720万円
総務費	14億1,483万円
公債費	9億159万円
教育費	8億1,610万円
衛生費	6億4,993万円
土木費	6億2,056万円
その他	12億6,194万円

（支出済額）

特別会計

保険料等の特定収入をもとに特定の事業を行う会計

	❷収入済額（収入率）	❸支出済額（執行率）
国民健康保険 ❶46億6,400万円	❷18億2,104万円（39.0%）	❸15億8,307万円（33.9%）
後期高齢者医療 ❶7億7,700万円	❷3億1,463万円（40.5%）	❸2億9,585万円（38.1%）
介護保険 ❶45億1,655万円	❷20億1,666万円（44.7%）	❸16億1,824万円（35.8%）
介護サービス事業 ❶1,770万円	❷975万円（55.1%）	❸589万円（33.3%）

❶予算現額

公営企業会計

民間企業のように物やサービスの提供に対する料金収入等によって運営する会計

区分			予算現額	執行額	対予算比率
水道事業	収益的収支	収入	11億 147万円	3億7,949万円	34.5%
		支出	10億9,621万円	4億3,734万円	39.9%
	資本的収支	収入	3億 800万円	0万円	0.0%
		支出	5億5,787万円	9,653万円	17.3%
下水道事業	収益的収支	収入	8億4,773万円	3億9,593万円	46.7%
		支出	8億5,013万円	3億 200万円	35.5%
	資本的収支	収入	6億1,447万円	1億3,351万円	21.7%
		支出	8億 69万円	2億6,024万円	32.5%

市有財産の現在高

（公営企業会計を除く）

土地	建物	車両	基金
1,159,343㎡	146,514㎡	125台	68億8,245万円






水道の給水状況

給水世帯	16,963世帯
給水人口	39,354人
上期給水量	1,812,317㎥
１日平均給水量	9,903㎥

下水道の使用状況

下水道使用世帯	4,603世帯
使用人口	10,311人
上期汚水量	566,192㎥
１日平均汚水量	3,094㎥

地方債の現在高

（一般会計）

臨時財政対策債	53億8,396万円
教育債	51億3,185万円
総務債（うち庁舎建設債）	48億5,512万円（40億6,418万円）
土木債	38億3,389万円
その他	15億3,800万円
合計	207億4,282万円